

上場会社名 モリト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9837 URL <https://www.morito.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一坪 隆紀  
 取締役上席執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼 (氏名) 阿久井 聖美 (TEL) 06-6252-3551  
 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年11月期第1四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	11,804	2.1	619	1.5	661	0.9	516	14.9
2022年11月期第1四半期	11,561	8.8	610	28.9	655	35.0	449	55.6

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 △150百万円( -%) 2022年11月期第1四半期 537百万円( 97.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	19.31	—
2022年11月期第1四半期	16.53	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	48,272	36,083	74.6
2022年11月期	50,271	36,684	72.9

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 36,034百万円 2022年11月期 36,628百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	13.50	—	18.50	32.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	3.1	2,300	8.6	2,450	4.6	1,800	7.5	67.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期1Q	30,000,000株	2022年11月期	30,000,000株
② 期末自己株式数	2023年11月期1Q	3,232,200株	2022年11月期	3,295,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期1Q	26,731,150株	2022年11月期1Q	27,184,425株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また当社及び当社の一部のグループ会社は、「株式給付信託(J-E S O P)」及び「役員報酬B I P信託」を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)と日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬B I P信託口)がそれぞれ所有する当社株式については、自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年12月1日～2023年2月28日)における経営環境は、ウィズコロナの下での各種政策の効果により、緩やかに回復に向かう動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢等による原材料価格の高騰、世界的なインフレの加速、為替の変動など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、主にアパレル関連、プロダクト関連、輸送関連の事業を行う当社グループにおきましては、当社主力商品の原材料の価格高騰、半導体不足による自動車メーカーの減産、海上輸送の遅れや運送費の高騰など、利益を押し下げる要因に加え、欧米・中国における消費の減速による需要の停滞が起こるなど、厳しい状況でありました。しかしその一方で、流行に左右されないスポーツシューズ・医療機器関連商品をはじめとする機能性に優れた付属品や製品が好調に推移しました。また、サステナブルな社会の実現を目指したモリトグループの取り組み「Rideeco(リデコ)」において、廃漁網や縫製工場から出るはぎれなどを活用した環境配慮型の商品の開発・販売を推進し、新規取引の獲得に注力しました。さらに、価格交渉による売上原価率の改善、高付加価値商品の販売増加により売上総利益率が大幅に改善しました。今後も物流の効率化に努め、第2四半期連結累計期間以降も収益性の改善が続くものと判断しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高118億4百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益6億1千9百万円(前年同期比1.5%増)、経常利益6億6千1百万円(前年同期比0.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億1千6百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における、海外子会社の連結財務諸表作成に係る収益及び費用の換算に用いた為替レートは、次のとおりです。

	第1四半期	
米ドル	141.39	(113.71)
ユーロ	144.26	(130.04)
中国元	19.85	(17.78)
香港ドル	18.07	(14.60)
台湾ドル	4.51	(4.09)
ベトナムドン	0.0058	(0.0050)
タイバーツ	3.89	(3.41)
メキシコペソ	7.19	(5.48)

(注) ( ) 内は前年同期の換算レートです。

セグメント別の経営成績につきましては、次のとおりです。

(日本)

アパレル関連では、作業服向け付属品、スポーツシューズ向け付属品の売上高が増加しました。

プロダクト関連では、医療機器関連商品、均一価格小売店向け商品、スノーボード・アウトドア関連商品、厨房機器レンタル・販売・清掃事業の売上高が増加しました。

輸送関連では、日系自動車メーカー向け自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は85億2百万円(前年同期比7.5%増)、セグメント利益は5億2千7百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

(アジア)

アパレル関連では、中国・香港でのベビーウェア向け付属品、ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品の売上高が増加しましたが、中国でのゼロコロナ政策の影響により、中国・香港での欧米向けカジュアルウェア・作業服関連付属品などの売上高は減少しました。

輸送関連では、半導体不足・中国でのゼロコロナ政策の影響により、中国での日系自動車メーカー向け自動車内装部品の売上高が減少しました。

その結果、売上高は17億1千9百万円(前年同期比22.3%減)、セグメント利益は2億1千9百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

(欧米)

アパレル関連では、カジュアルウェア向け付属品の売上高が減少しましたが、レジャー関連商品向け付属品の売上高は増加しました。

輸送関連では、日系自動車メーカー向け自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は15億8千2百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント損失は4千6百万円(前年同期はセグメント損失1千8百万円)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月13日に公表いたしました2023年11月期の連結業績予想につきましては、現在のところ変更はございません。なお、新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響が発生する場合は、業績に与える影響等が明確になった時点で、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,399,699	9,400,830
受取手形及び売掛金	9,255,694	8,054,204
電子記録債権	2,847,664	3,512,924
棚卸資産	6,953,716	7,121,881
その他	1,076,907	877,818
貸倒引当金	△52,481	△43,594
流動資産合計	30,481,201	28,924,064
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,547,309	4,540,648
その他(純額)	5,619,621	5,297,073
有形固定資産合計	10,166,930	9,837,721
無形固定資産		
のれん	2,712,342	2,451,839
その他	1,154,268	1,042,216
無形固定資産合計	3,866,611	3,494,055
投資その他の資産		
投資有価証券	4,465,618	4,749,836
退職給付に係る資産	286,915	286,774
その他	1,150,405	1,111,376
貸倒引当金	△145,760	△131,179
投資その他の資産合計	5,757,179	6,016,807
固定資産合計	19,790,721	19,348,585
資産合計	50,271,922	48,272,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,684,932	3,991,315
電子記録債務	940,625	990,602
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	280,008	280,008
未払法人税等	577,794	371,131
賞与引当金	393,205	354,165
役員賞与引当金	145,842	45,140
その他	2,237,096	1,875,711
流動負債合計	9,309,505	7,958,074
固定負債		
長期借入金	1,423,294	1,353,292
株式給付引当金	37,448	36,712
役員退職慰労引当金	45,558	41,833
役員株式給付引当金	88,468	91,474
環境対策引当金	25,968	23,796
退職給付に係る負債	862,554	871,766
その他	1,794,765	1,812,459
固定負債合計	4,278,056	4,231,335
負債合計	13,587,562	12,189,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,492	3,532,492
資本剰余金	2,962,803	2,980,337
利益剰余金	27,539,047	27,551,558
自己株式	△2,174,195	△2,131,088
株主資本合計	31,860,146	31,933,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,274,715	1,502,616
繰延ヘッジ損益	△15,199	△21,313
土地再評価差額金	442,187	442,187
為替換算調整勘定	3,023,530	2,138,539
退職給付に係る調整累計額	43,380	39,378
その他の包括利益累計額合計	4,768,615	4,101,409
新株予約権	55,597	48,531
非支配株主持分	—	—
純資産合計	36,684,360	36,083,239
負債純資産合計	50,271,922	48,272,649

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)
売上高	11,561,273	11,804,902
売上原価	8,503,016	8,572,048
売上総利益	3,058,257	3,232,853
販売費及び一般管理費	2,448,105	2,613,475
営業利益	610,151	619,378
営業外収益		
受取利息	2,244	3,257
受取配当金	10,204	9,524
投資有価証券償還益	—	17,959
不動産賃貸料	18,945	18,890
持分法による投資利益	16,061	13,995
雇用調整助成金	1,054	—
補助金収入	18,082	—
その他	8,754	20,451
営業外収益合計	75,345	84,077
営業外費用		
支払利息	2,224	2,459
デリバティブ損失	—	18,950
為替差損	4,860	—
その他	22,800	20,238
営業外費用合計	29,885	41,648
経常利益	655,612	661,807
特別利益		
固定資産売却益	261	824
投資有価証券売却益	—	141,392
新株予約権戻入益	525	420
受取保険金	70,016	—
特別利益合計	70,803	142,637
特別損失		
固定資産除却損	52	558
特別損失合計	52	558
税金等調整前四半期純利益	726,363	803,887
法人税、住民税及び事業税	258,805	261,914
法人税等調整額	18,308	25,672
法人税等合計	277,114	287,587
四半期純利益	449,249	516,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,249	516,299

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	449,249	516,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175,215	227,901
繰延ヘッジ損益	△3,483	△6,119
為替換算調整勘定	263,828	△884,991
退職給付に係る調整額	3,406	△4,001
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	5
その他の包括利益合計	88,531	△667,206
四半期包括利益	537,781	△150,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	537,781	△150,906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
アパレル関連	2,459,489	1,417,126	1,166,113	5,042,730	—	5,042,730
プロダクト関連	4,354,531	186,903	13,833	4,555,268	—	4,555,268
輸送関連	1,098,026	608,584	256,664	1,963,274	—	1,963,274
顧客との契約から生じる収益	7,912,047	2,212,614	1,436,611	11,561,273	—	11,561,273
外部顧客への売上高	7,912,047	2,212,614	1,436,611	11,561,273	—	11,561,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	376,825	763,000	23,710	1,163,536	△1,163,536	—
計	8,288,872	2,975,614	1,460,322	12,724,809	△1,163,536	11,561,273
セグメント利益又は損失(△)	478,574	220,578	△18,182	680,969	△70,817	610,151

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,817千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,084千円、その他△18,733千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
アパレル関連	2,548,835	1,367,384	1,242,761	5,158,981	—	5,158,981
プロダクト関連	4,752,723	165,659	2,533	4,920,915	—	4,920,915
輸送関連	1,201,413	186,146	337,444	1,725,004	—	1,725,004
顧客との契約から生じる収益	8,502,971	1,719,191	1,582,739	11,804,902	—	11,804,902
外部顧客への売上高	8,502,971	1,719,191	1,582,739	11,804,902	—	11,804,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	482,676	1,373,307	14,532	1,870,516	△1,870,516	—
計	8,985,648	3,092,498	1,597,271	13,675,418	△1,870,516	11,804,902
セグメント利益又は損失(△)	527,680	219,863	△46,255	701,289	△81,910	619,378

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△81,910千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,808千円、その他△29,101千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。